

2026

第16号

発行日：7月9日

天龍村議会だより

6/22
(月)

村内視察

村の予算で進められている道路整備や産業振興、村営住宅用地などの事業を視察しました。



農林公社コーヒー
実証実験栽培（大河内）



信州サーモン
(協力隊：菊池原さん)



龍泉閣加工室 蒸し器導入



村道長野長島線3号トンネル修繕工事

6/30
(火)

行政交流会

長野県下伊那南部建設事務所との行政交流会で、各種工事の進捗を視察し、道路整備の早期実現に向けた意見交換を行いました。



道路改築事業(国)418号
新野～神原



砂防事業 芝沢川



橋梁架替事業(国)418号
天竜川橋

承認2	令和7年度 天龍村一般会計補正予算（第9号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決第2号）
承認3	令和7年度 天龍村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決第3号）
承認4	令和7年度 天龍村介護保険特別会計補正予算（第5号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決第4号）
承認5	令和7年度 天龍村後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決5号）
承認6	令和7年度 天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）について専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決6号）
議案36	天龍村税条例の一部を改正する条例について
議案37	天龍村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
議案38	令和8年度 学校施設環境改善交付金 天龍村総合体育施設空調設備整備工事の請負契約について
議案39	天龍村在宅介護支援センターの指定管理者の指定について
議案40	天龍村高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について
議案41	令和8年度 天龍村一般会計補正予算（第1号）について
議案42	令和8年度 天龍村介護保険特別会計補正予算（第1号）について
議案43	令和8年度 天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について
議案44	令和8年度 天龍村営水道事業会計補正予算（第1号）について
議案45	令和8年度 天龍村営下水道事業会計補正予算（第1号）について
報告1	有限会社 天龍農林業公社の経営状況の報告について
報告2	有限会社 龍泉閣の経営状況の報告について
報告3	令和7年度 天龍村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

一般質問



後藤知久 議員

1 新副村長の就任について

Q 副村長にどのようなことを期待し求めるか。
また副村長自身の就任にあたっての決意や、4年間で特に力を注ぎたい分野を伺う。

A 村長：3月議会での選任理由説明から考えに変更はない。
副村長：職員一人一人と向き合い相談しやすい職場環境をつくり、職員が能力を発揮できるように努めたい。

2 若者定住対策について

Q 仕事・住まい・子育て・繋がり の4点は総合計画（後期基本計画）にどう反映されるか。
また龍蛇山沢基金の利用状況、保健師修学資金以外の分野の学生への奨学金返還免除の検討、若者世帯向け村営住宅の今後の計画について伺う。

A 企画課長：商工会と連携した人材ニーズ把握・マッチング、リモートワーク等新たな働く場の創出、通勤助成金の拡充などにより雇用創出と人口流出抑制に取り組む。
教育長：龍蛇山沢基金は新年度、大学生3名・専門学校生1名の計4名が利用（限度額引き上げにより月5万円貸与、累計利用者18名）。保健師等修学資金の返還免除は医療専門職に限定した措置であり、対象拡大は公平性の観点から慎重に検討したい。
振興課長：向方・大河内地区等にも村営住宅建設を検討するとともに、中央区の分譲宅地整備による自己取得支援も進める。

3 村内の国・県道の改良や改築、新設工事、要望等について

Q 国418号天竜川橋の上部工完成・供用開始時期等、事業計画路線の進捗を伺う。

A 振興課長：国道418号天竜川橋は上部工の完成及び供用開始が令和10年度となる見込み。
村長：上部工の完成時期が令和10年度というのは南部建設事務所から聞いている内容であり、取り付け道路の完成時期が令和10年度になるとは聞いていない。取り付け道路を含めた全体の供用開始時期については、建設事務所からまだ示されていないため把握していない。



今村久雄 議員

1 村営住宅における物置設置の公平性について

Q 物置設置済み住宅と未設置住宅が混在する理由、公平性の考え方、今後の整備予定を伺う。

A 振興課長：管理する村営住宅54戸のうち物置整備済みは21戸。建設時期や規模等により整備方針が異なっていたため。

村長：やむを得ないものと捉え、住宅棟ごとのバランスで公平性を確保していると認識。今後整備する住宅では物置整備を検討し、既存住宅も要望に応じ柔軟に対応する。

2 ごみ回収、特に赤い袋の件について

Q 赤い指定袋（最大11種類の分別）による高齢者世帯等の負担について、現状の課題認識と、地区単位での共同運用や役場等への少量回収拠点設置の検討可能性を伺う。

A 住民課長：分別の多様化により高齢者の負担が大きいとの声は承知している。

村長：乾電池等たまりにくいごみについて、役場や南支所への回収ボックス設置を検討していく。

3 小規模持続型林業への支援について

Q 集約化・大規模化中心の林業政策の中で、小規模山林維持や地域保全型林業への現状認識、継続可能な支援の検討状況を伺う。

A 振興課長：人工林の管理意欲低下や病虫害被害、担い手不足が課題。地域おこし協力隊制度の活用や移住定住施策との連携、機械貸出制度の拡充等を検討。山林は防災・水源涵養等の多面的機能を持つため、関係者との意見交換を通じ持続可能な森林管理を推進する。

4 地すべり対策事業における水資源活用について

Q 地すべり対策事業で排出される地下水の管理主体、使用・処分権限、協定上の位置付け、新たな地域資源としての活用検討の考えを伺う。

A 振興課長：対策地域内の排水は事業者が管理し、区域外に排出された水は自然の雨水と同様の扱いとなり、利用目的の設定や協定はない。

村長：地下水の有効活用は以前から考えているが、事業内容や水量が未確定であり、地すべり由来の水と井戸水の水源が異なる可能性も国が研究中のため、活用の検討は今後の課題となる。



熊谷美沙子 議員

1 村道の管理及びメンテナンスについて

Q 国直轄の地すべり対策事業が進む平岡・中井侍地区の間で、村道に陥没や亀裂、沈下が目立つ。地下水の影響も懸念されるため、国の調査対象に含めてもらえないか。また専門業者による定期パトロールは可能か。

A 振興課長：村道鶯巣小沢線など3路線26箇所を確認済み。国（天竜川上流河川事務所）は対策地域外のため即時調査は困難とのこと。通行に支障のある箇所から村が優先的に対策を行い、改善が見られなければ国・県の助言を受けて検討する。業者委託には費用がかかるため、当面は村自ら安全確保のパトロールを行う。

将来的に満月屋から早木戸間の道路改良工事が行われる場合には、村道鶯巣小沢線が迂回路になると思われる。天龍村は道路延長が長く、すべてを専門業者に委託することは困難であると思うが、異常を早期に発見する事が大事なので、国や県の助言を受けながらこまめに対応していただきたい。

2 投票所の集約と投票の選択肢について

Q 8月の県知事選挙に向け、投票所が「平岡」「鶯巣」「向方」の3箇所に集約されると説明があった。利便性向上のため「移動投票車」の導入や、期間中1日だけの期日前投票所の設置（例：南支所）は検討できないか。

A 総務課長：投票管理者・立会人の担い手不足や有権者数の偏り、選挙費用の効率化を踏まえて見直した。投票機会が失われないよう選挙管理委員会で協議・決定し、周知していく。移動投票車や期日前投票所設置の提案は選挙管理委員会に伝える。

3 水道設備の生活基盤近代化事業について

Q 令和8年度国予算で水道施設整備費が1億円超計上された。事業の概要と今後のスケジュールを伺う。

A 振興課長：今年度は清水区の水道管約880mを布設替え（事業費1億735万円）。来年度は原地区配水池から下水道未敷設区間の布設替えを予定。WOTA社の水循環システムは国で実証実験中だが制度化にはなお時間を要する見込みで、村内13施設のうちどこに導入すべきか同社の指導を受けながら検証を進める。



熊谷よし江 議員

1 受け入れ住宅体制について

Q 山村留学家庭や地域おこし協力隊、教職員等の受け入れにおいて、住宅不足や整備の遅れが生じている。現状認識と、空き家が増加する一方で居住可能な住宅確保が進まない要因、住宅整備・改修計画と受け入れ人数との整合性、今後の住宅確保の優先対象・手法の考えを伺う。

A 企画課長：受け入れ時期により入居調整が難航する場合があります、住宅確保は移住定住施策の課題と認識。需要のバランスを見ながら住宅整備を進める。

振興課長：空き家バンクの登録は2件にとどまる。所有者が遠方在住で賃貸・売買に消極的なことや、水回り等の大規模修繕が必要な物件が多いことが要因（令和6年度調査で空き家260件）。今年度は西原地区で単身者向け村営住宅の建設を計画。

企画課長：今後は①新たな定住用村営住宅の整備、②空き家の村取得・改修による貸与や譲渡、③住宅・空き家・宅地取得補助の継続、の3本柱で持続可能な規模で進めていく。

Q 人口減少時代において、地域住民の協力に依存する現状を踏まえ、善意や属人的対応に頼らない持続可能な住宅・受け入れ体制をどのように構築していく考えか。

A 振興課長答弁：退去時の温水器等の不具合を発見していなかった為、新たに入居された方や近隣にお住まいの方等に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

企画課長答弁：日頃から村へ移住定住された皆さんに対し、村民の皆さんが色々な手助けをしていただいております。この繋がりは日常や災害時など大変にありがたいものと思います。

村長：ご迷惑をおかけしたことへのお詫びと、今後は入退去時の点検を徹底し、再発防止に取り組む考えである。

誰が担当になっても、同じ水準で行政サービスを提供出来るよう、地域の善意や個人の努力に頼らない持続可能な受け入れ体制と仕組みづくりを求めました。

2026年6月 村松克一議長 活動記録

6月2日

龍泉閣 取締役会、株主総会

6月6日

オークラホテル 東京長野県人会

6月15日

役場 ふるさと夏まつり実行委員会

6月25日

飯田市勤労者福祉センター

飯田以南国道153改良促進期成同盟総会

6月の議会をケーブルTVで放送中！

■最終日前編

放送期間:7月5日(日)～11日(土)

放送時間:10時・15時・21時

■最終日後編

放送期間:7月12日(日)～18日(土)(予定)

放送時間:前編と同時間を予定

※後編の放送期間は現時点で未定のため、変更となる場合があります。

編集後記

雨上がり、山々にたなびく雲か霧か——この風景がたまらなく好きです。雨そのものは苦手ですが、雨上がりの景色は格別。今年は梅雨らしい梅雨で、作物には恵みの雨となりました。この先は暑さが本番、台風だけは来てほしくありません。皆様、どうぞ体調を崩されませんように。

編集長：今村久雄